

## 1. はじめに

- (1) 当マニュアルは、以下の方向けのインストール方法をご説明します。
  - ①「自社作成データ変換ツール」を既にお使いの方で、新バージョンのツールを現在のツールとは別の場所にインストールされたい方
  - (2) 現在のツールが **Program Files** 以下にインストールされている場合と、それ以外の場合で処理が分かれます。

## 2. 作業の手順

- (1) 作業の手順は以下の手順となります。

①登録データの退避

↓

②現バージョンのアンインストール

↓

③新バージョンのインストール

↓

④退避データの戻し

(2) 上記①、②を行わず、現バージョンと別の場所へインストールした場合、現在のツールで登録されているデータ変換パターンは使用不可となります。

(3) 上記の手順で行わず、アンインストール→インストールとした場合は、現在のツールで登録されているデータ変換パターンはクリアされてしまいます。

## 3. 作業説明

- (1) 登録データ退避の仕方

① c:\Program Files 以下へインストールしている場合

a. ini ファイルの探し方

(a) 「スタート」ボタン→「検索」の順に選択してください。

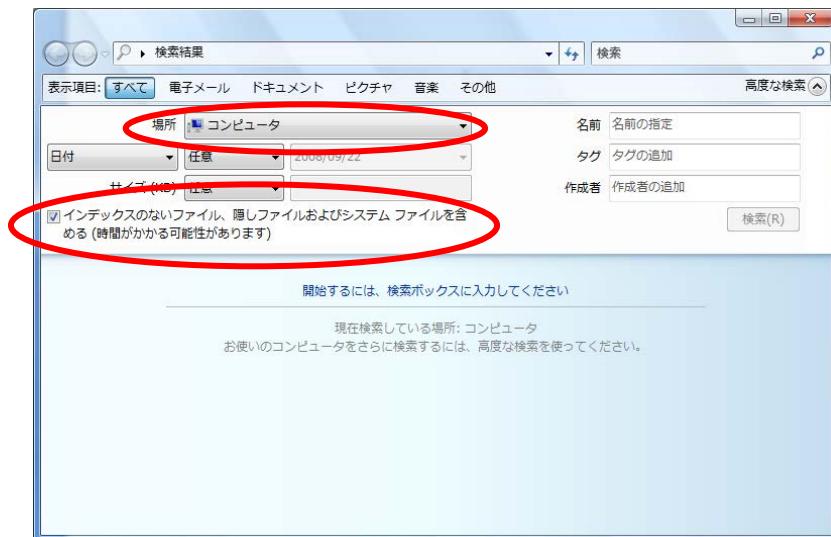


(b) 「高度な検索」ボタンを選択してください。

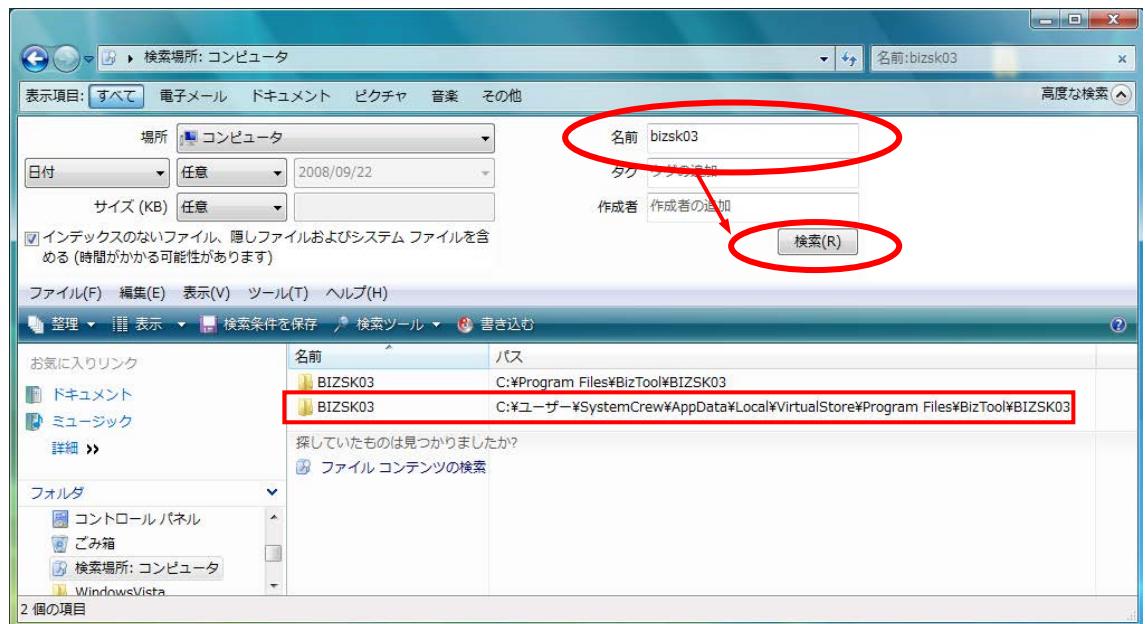


(c) 「場所」に全てのドライブが検索対象となるように設定し(\*)、“インデックスのないファイル、隠しファイルおよびシステムファイルを含める（時間がかかる可能性があります）”のチェックボックスにチェックを入れてください。

(\*)...下の画面の例では「コンピュータ」になります。端末によって表示は異なります。全てのドライブが検索対象となるように設定してください。



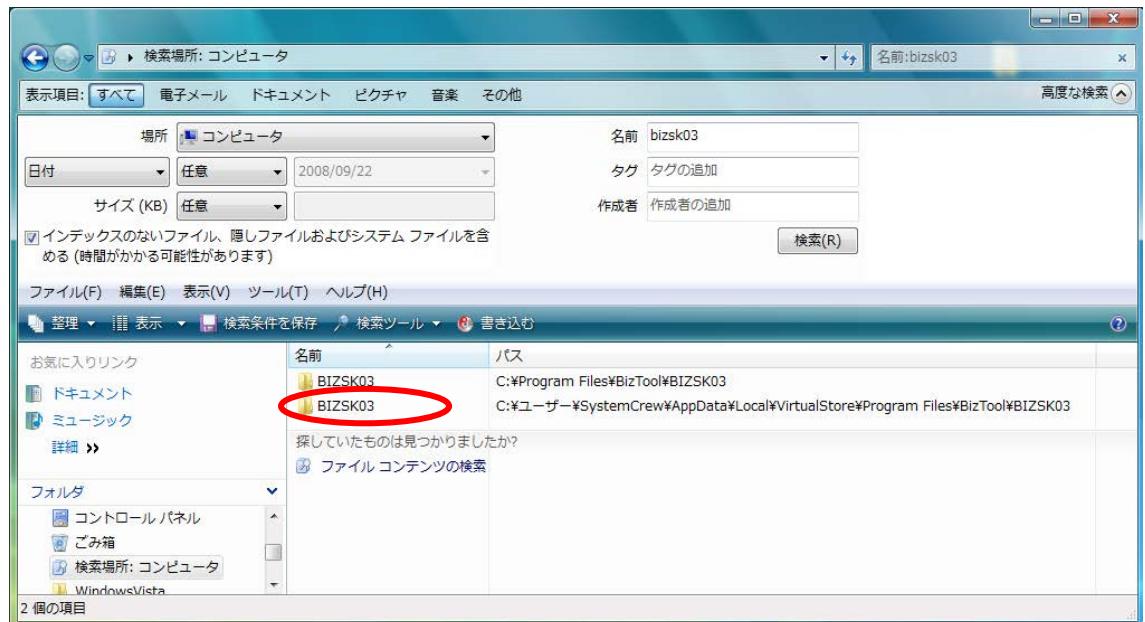
(d) 画面右上の検索枠に「bizsk03」と半角で入力し、「検索(R)」ボタンを選択してください検索結果が表示されます。



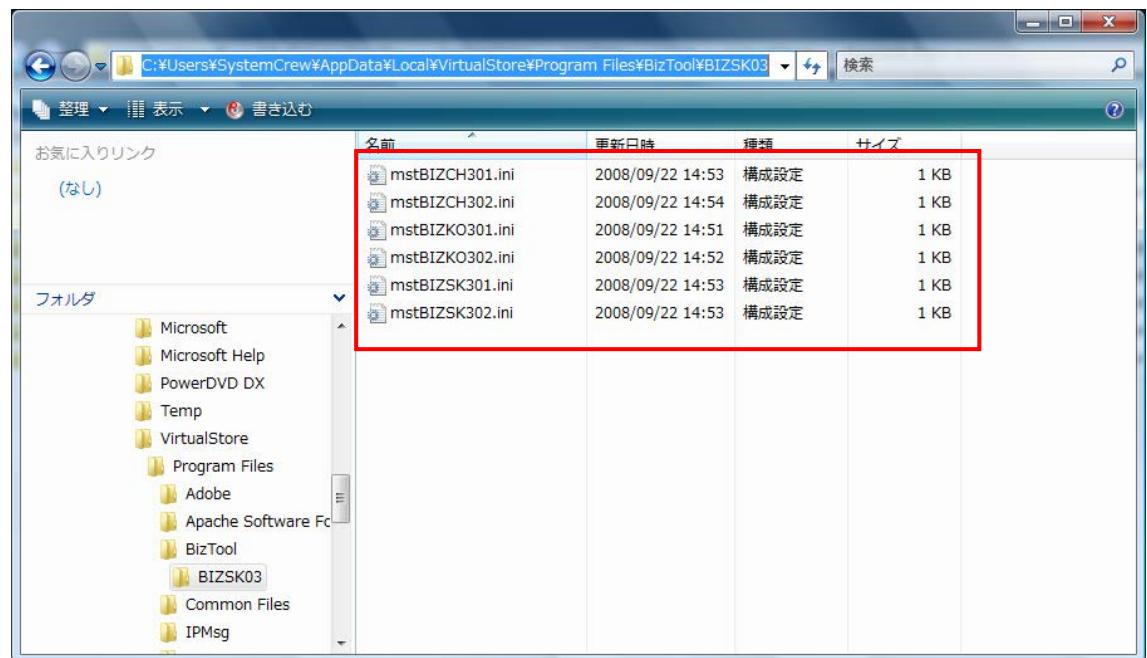
(e) C:\Users\SystemCrew\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\BizTool\BIZSK03 をダブルクリックします。

\* 下の画面の例では [SystemCrew]になります。端末によって表示は異なります。

[SystemCrew]にユーザー名が入ります。



(f) 「BIZSK03」と書かれたフォルダ内のファイルの一覧が表示されます。



ファイルの名前に拡張子が表示されていない場合は、**alt** キーを押し、メニュー  
バーを表示させた後、「ツール(T)」から「フォルダ オプション(O)」を選択して  
ください。「フォルダ オプション」画面が表示されますので、「表示」タブを選択  
してください。詳細設定の“登録されているファイルの拡張子は表示しない”の  
チェックを外して、「OK」ボタンを選択してください。

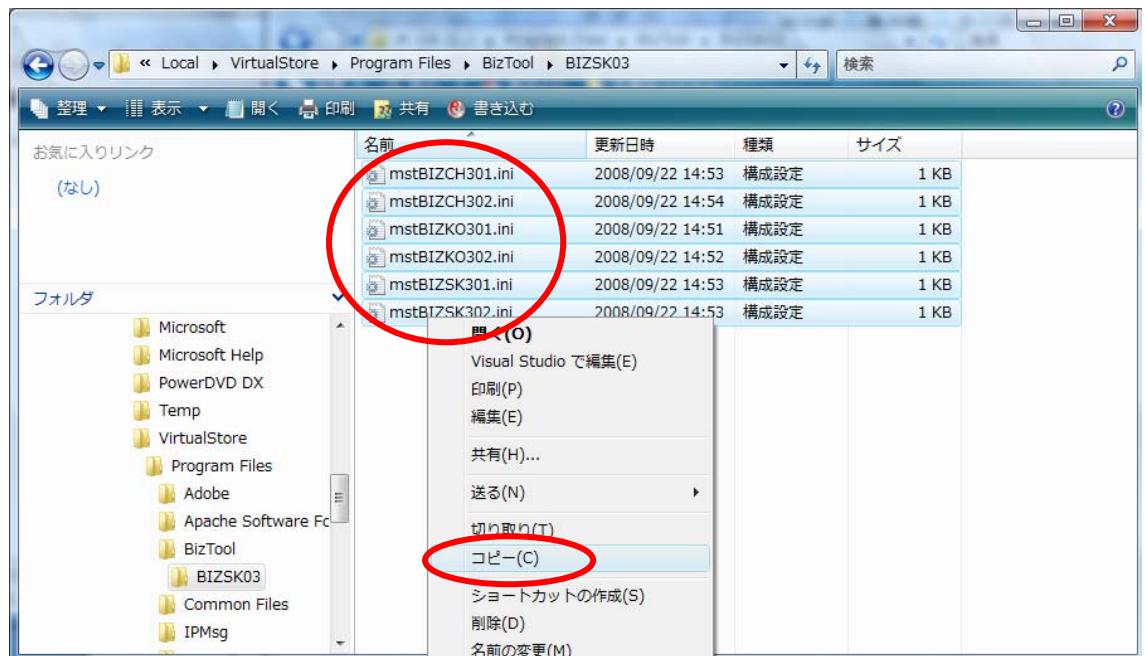
## b. 登録データのコピー

(a)一覧から、ファイル名の拡張子が「ini」となっているもののなかで、次の6つのファイルを選択します。

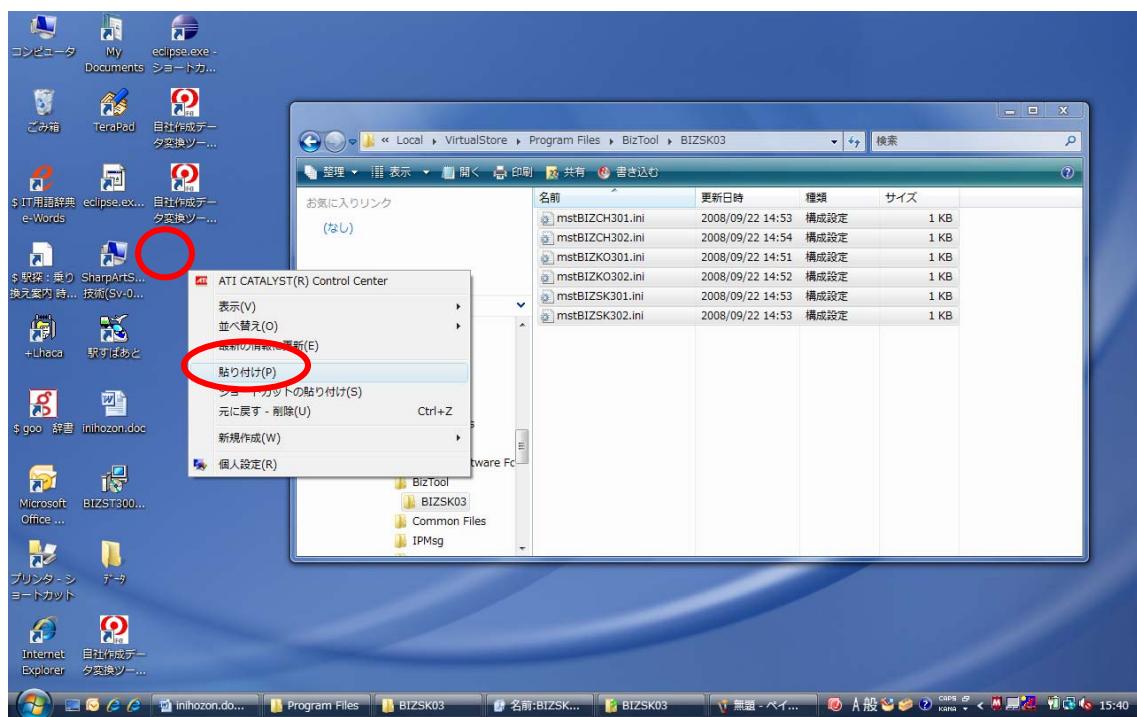
「mstBIZCH301.ini」「mstBIZCH302.ini」「mstBIZSK301.ini」

「mstBIZSK302.ini」「mstBIZKO301.ini」「mstBIZKO302.ini」

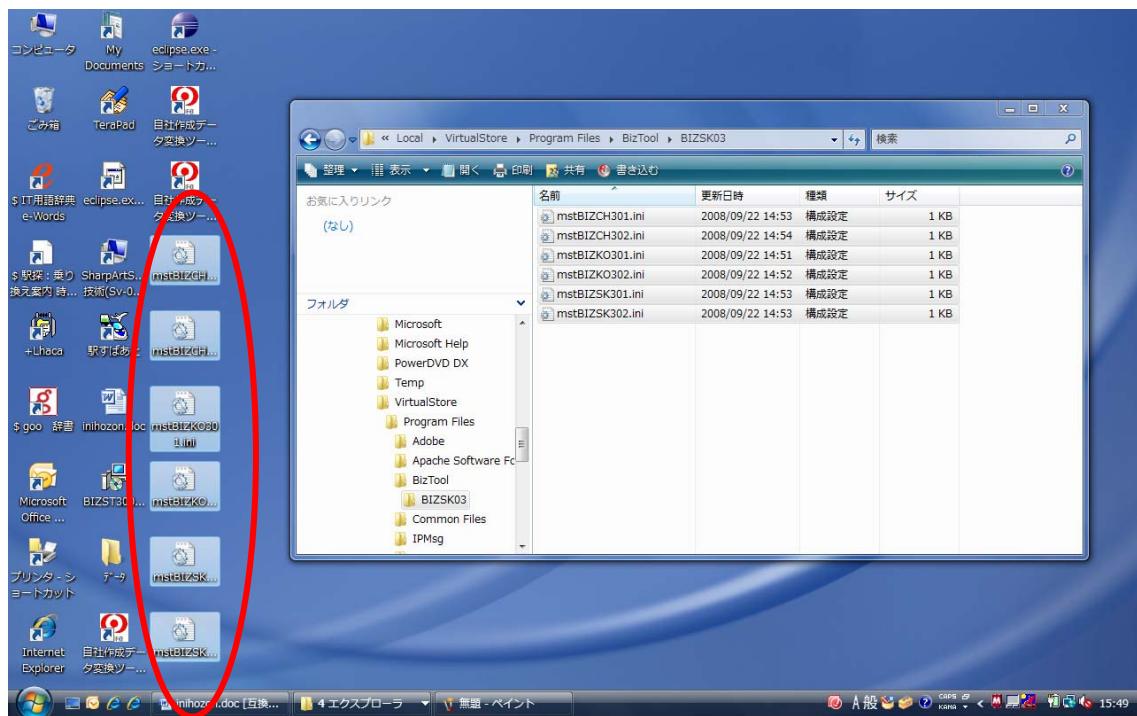
**Ctrl** キーを押しながら選択して反転表示としてください。下の画面のように6つのファイルが反転表示されている状態になります。引き続き、反転表示されている場所にマウスカーソルを合わせて右クリックし、表示されたメニューの中から「コピー(C)」を選択してください。



(b) 続いてマウスをデスクトップ上の空いている場所に移動させて右クリックし、表示されたメニューの中から「貼り付け (P)」を選択してください。



(c) デスクトップ上にファイルがコピーされ、データ変換パターンの退避が完了しました。



フロッピーディスクをご使用になれるコンピュータであれば、フロッピーディスクを退避場所にすることをお勧めします。

② c:\Program Files 以外へインストールしている場合

a. ini ファイルの探し方

(a) 「スタート」ボタン - 「検索」の順に選択してください。

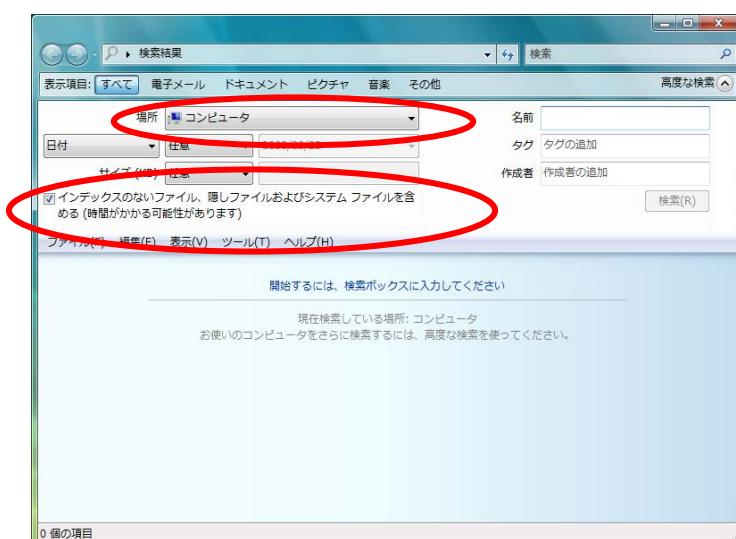


(b) 「高度な検索」ボタンを選択してください。

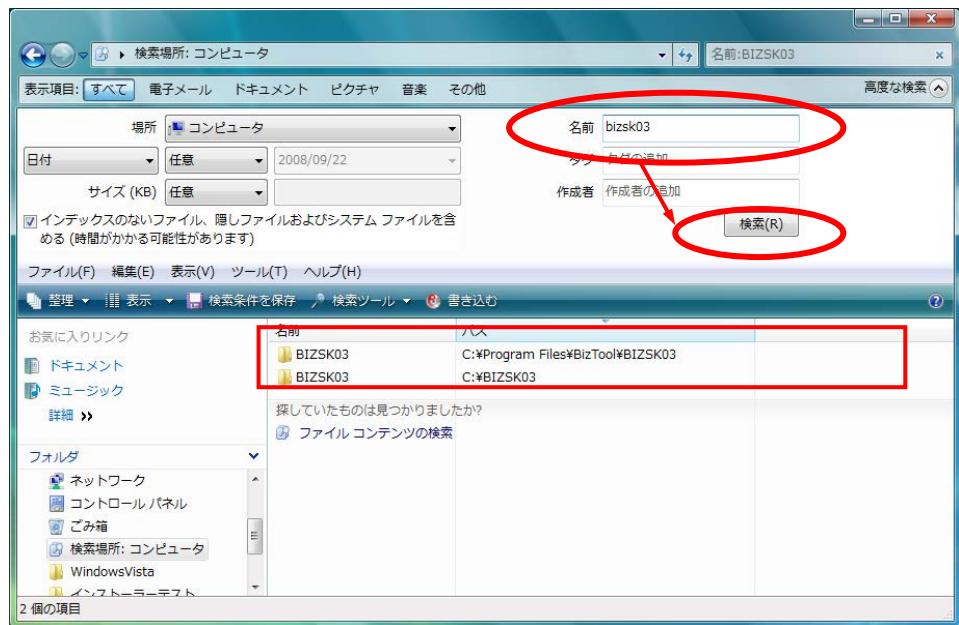


(c) 「場所」に全てのドライブが検索対象となるように設定し(\*)、“インデックスのないファイル、隠しファイルおよびシステムファイルを含める（時間がかかる可能性があります）”のチェックボックスにチェックを入れてください。

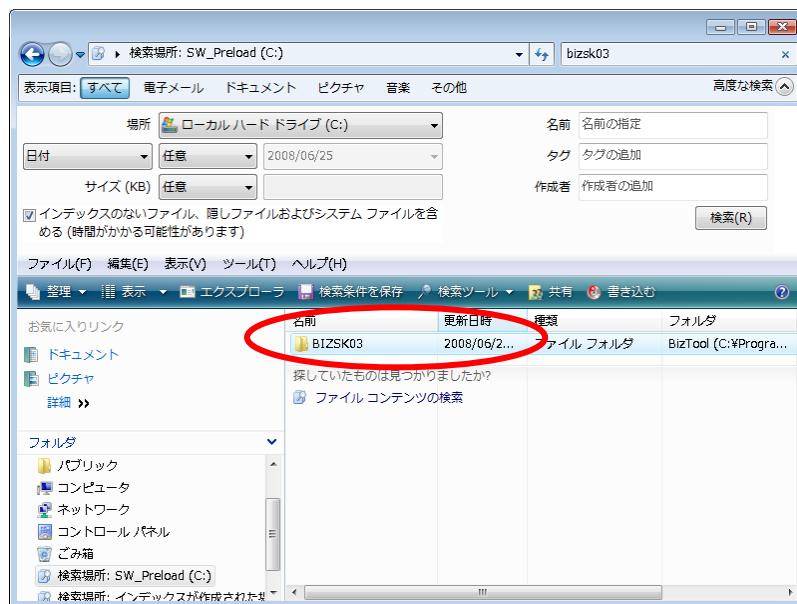
(\*)...下の画面の例では「コンピュータ」になります。端末によって表示は異なります。全てのドライブが検索対象となるように設定してください。



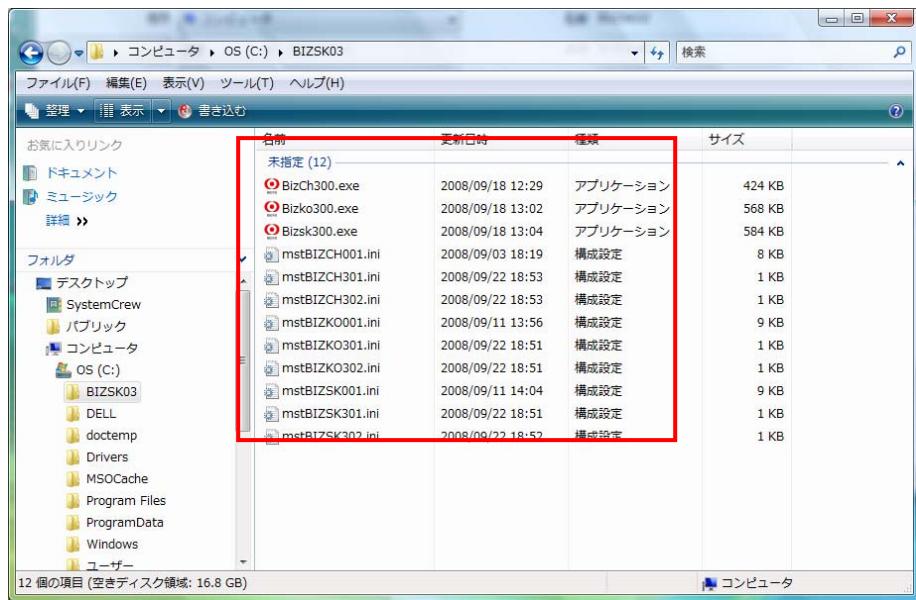
(d) 画面右上の検索枠に「bizsk03」と半角で入力し、「検索(R)」ボタンを選択してください検索結果が表示されます。



(e) (d)で表示された「BIZSK03」をダブルクリックします。



(f) 「BIZSK03」と書かれたフォルダ内のファイルの一覧が表示されます。



ファイルの名前に拡張子が表示されていない場合は、**alt** キーを押し、メニューバーを表示させた後、「ツール(T)」から「フォルダ オプション(O)」を選択してください。「フォルダ オプション」画面が表示されますので、「表示」タブを選択してください。詳細設定の“登録されているファイルの拡張子は表示しない”的チェックを外して、「OK」ボタンを選択してください。

## b. 登録データのコピー

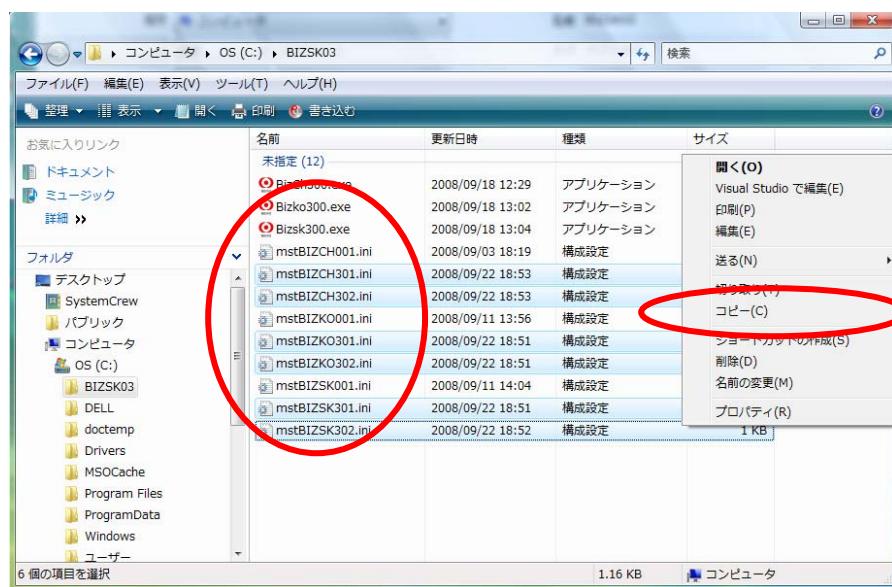
(a) 一覧から、ファイル名の拡張子が「ini」となっているもののなかで、次を除くファイルを選択します。

「mstBIZCH001.ini」「mstBIZSK001.ini」「mstBIZKO001.ini」を除く選択するファイル名は次の6つになります。

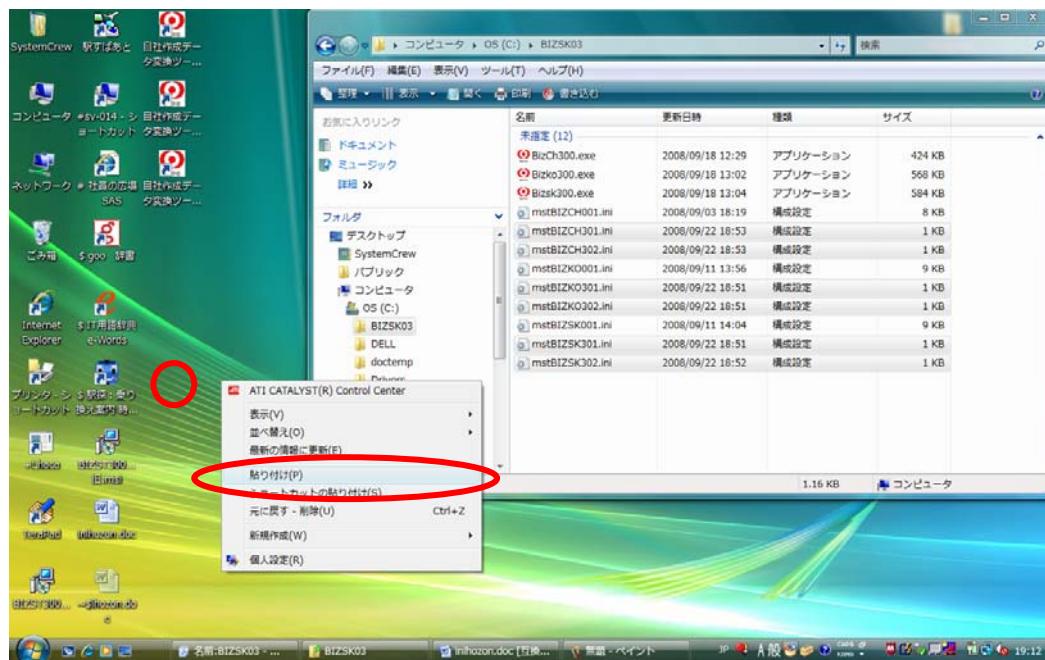
「mstBIZCH301.ini」「mstBIZCH302.ini」「mstBIZSK301.ini」

「mstBIZSK302.ini」「mstBIZKO301.ini」「mstBIZKO302.ini」

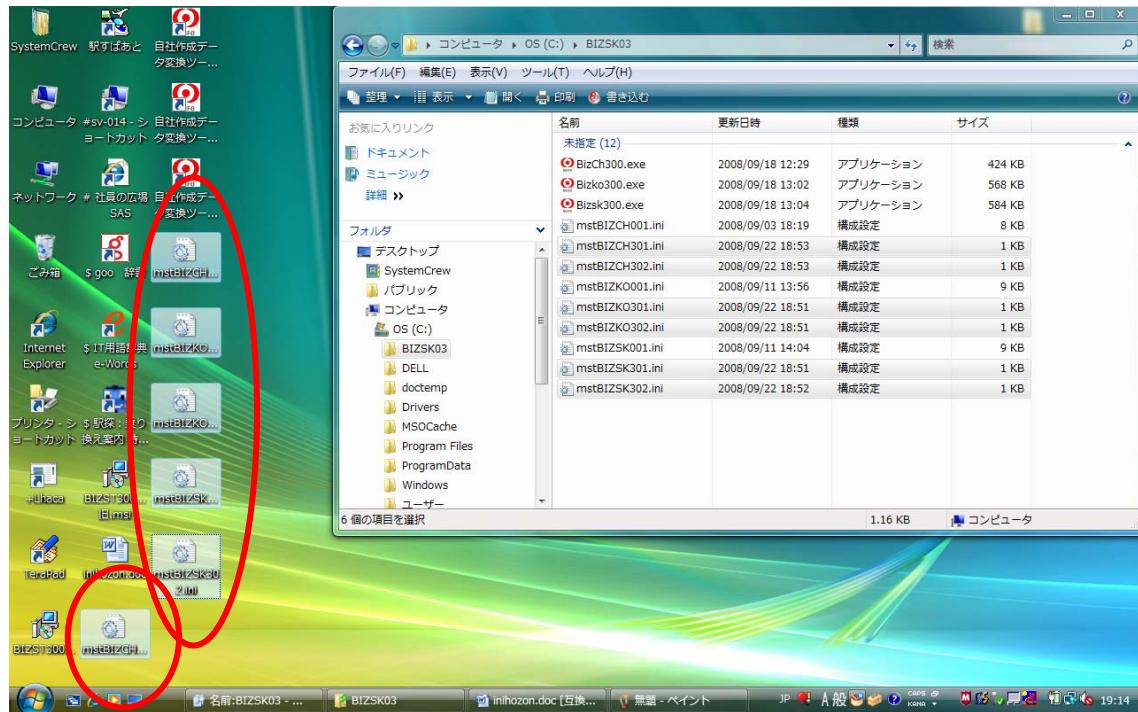
**Ctrl** キーを押しながら選択して反転表示としてください。下の画面のように6つのファイルが反転表示されている状態になります。引き続き、反転表示されている場所にマウスカーソルを合わせて右クリックし、表示されたメニューの中から「コピー(C)」を選択してください。



(b) 続いてマウスをデスクトップ上の空いている場所に移動させて右クリックし、表示されたメニューの中から「貼り付け (P)」を選択してください。



(c) デスクトップ上にファイルがコピーされ、データ変換パターンの退避が完了しました。



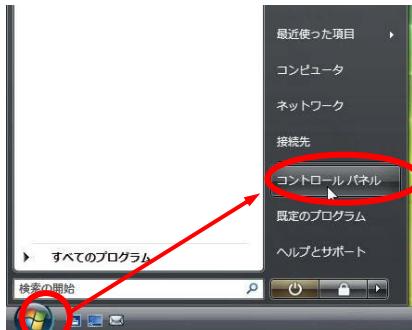
フロッピーディスクをご使用になれるコンピュータであれば、フロッピーディスクを退避場所にすることをお勧めします。

次のページからはプログラムのアンインストール（削除）方法について説明します。

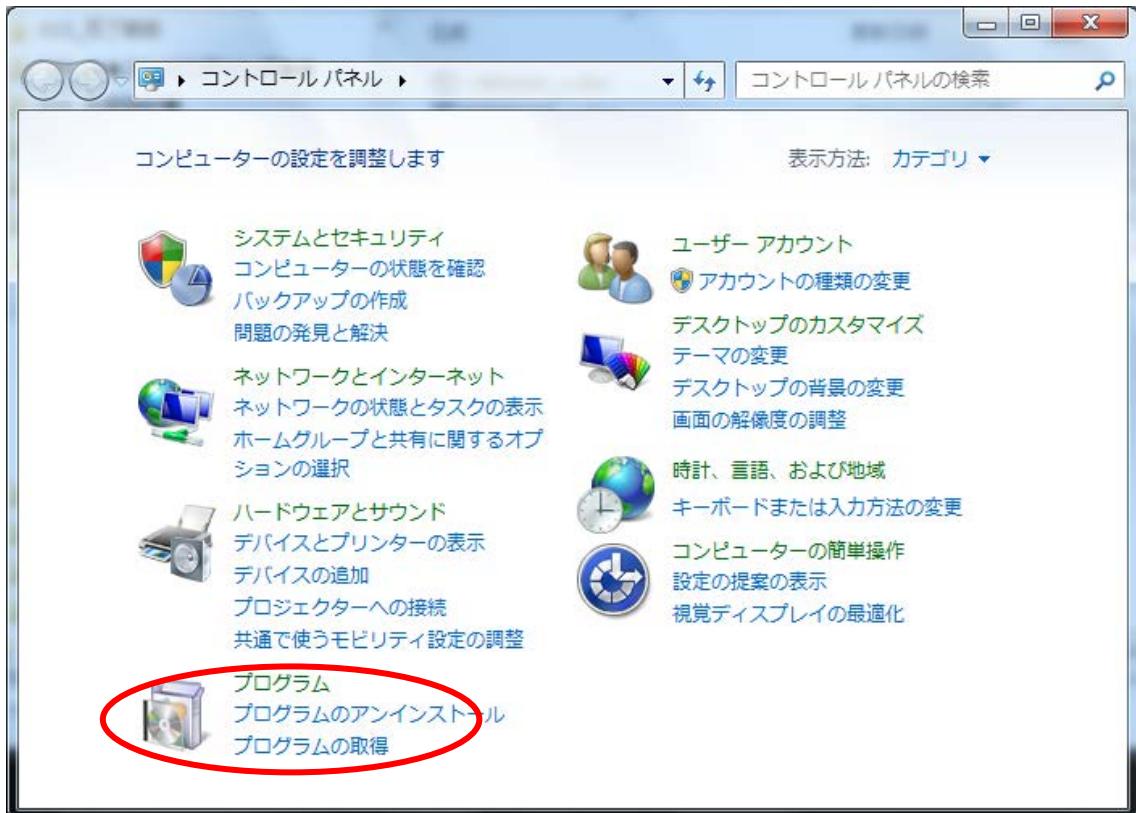
## (2) 現バージョンのアンインストール

① データファイルの退避後、「BizSTATION 自社作成データ変換ツール」を削除します。

「スタート」メニューを開き、「コントロールパネル」を選択してください。



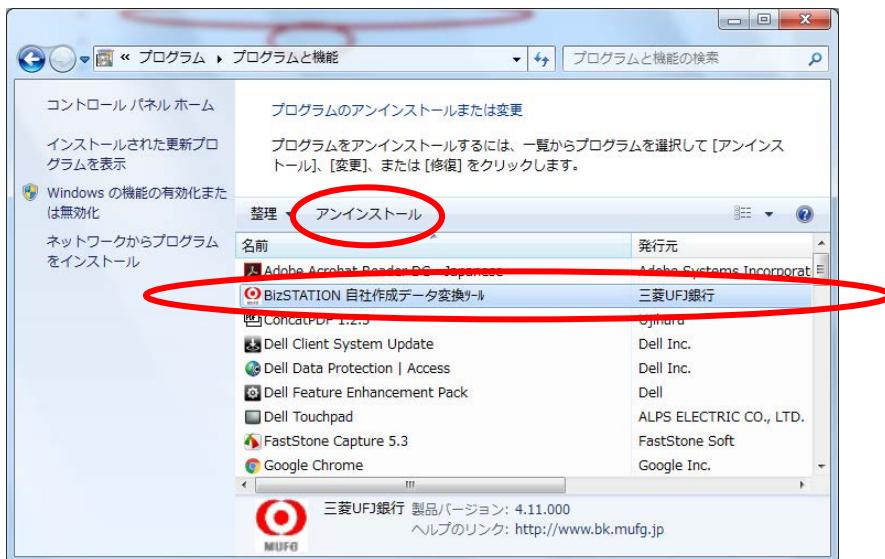
② 「プログラムのアンインストール」を選択してください。



- ③ 登録されているプログラムが表示されます。「BizSTATION 自社作成データ変換ツール」が登録されていることを確認してください。



- ④ 「BizSTATION 自社作成データ変換ツール」を選択すると、「アンインストール」と表示されるのでクリックしてください。

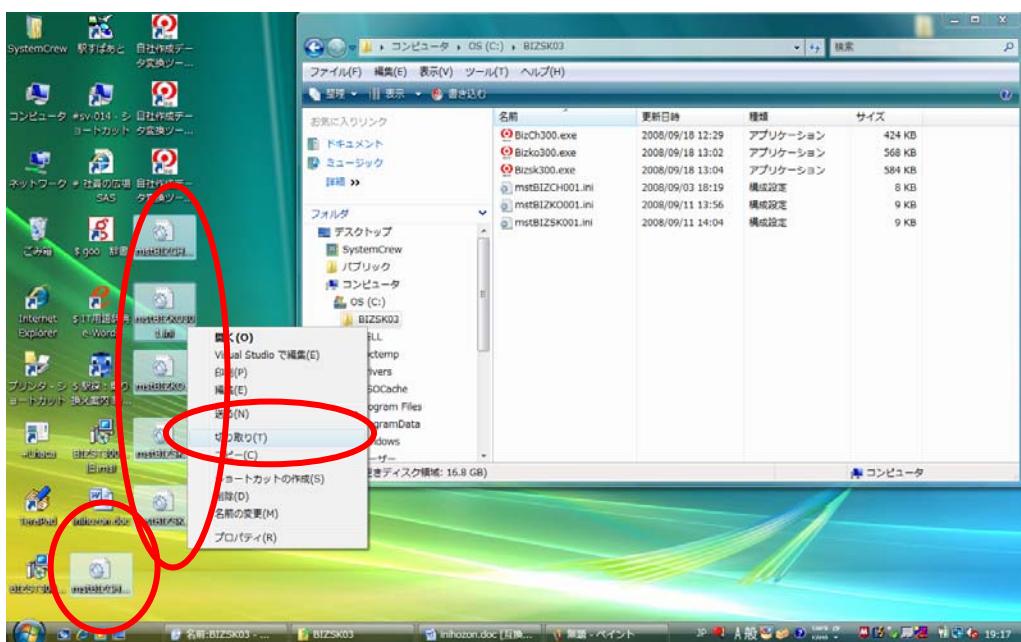


### (3) 退避した ini の戻し方

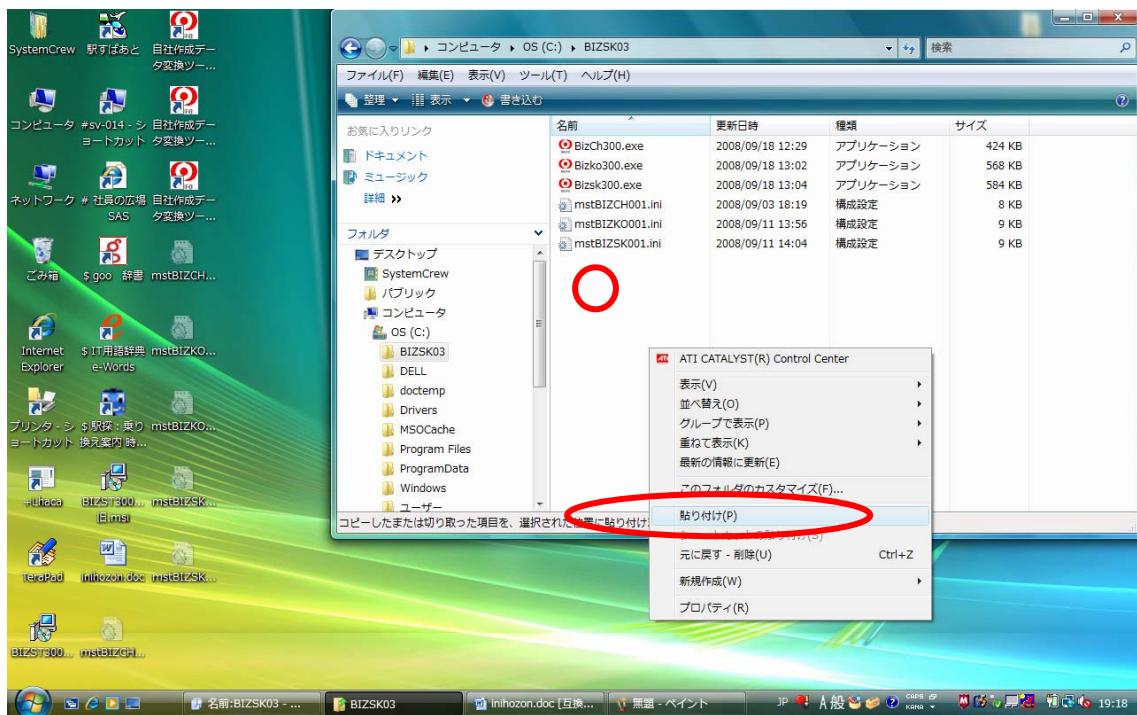
① 次の画面はインストール時に表示されるフォルダ「C:\Program Files\BizTool\BIZSK03」にインストールした場合をエクスプローラで確認した状態です。

(ini の探し方の手順を繰り返すことで確認できます。)

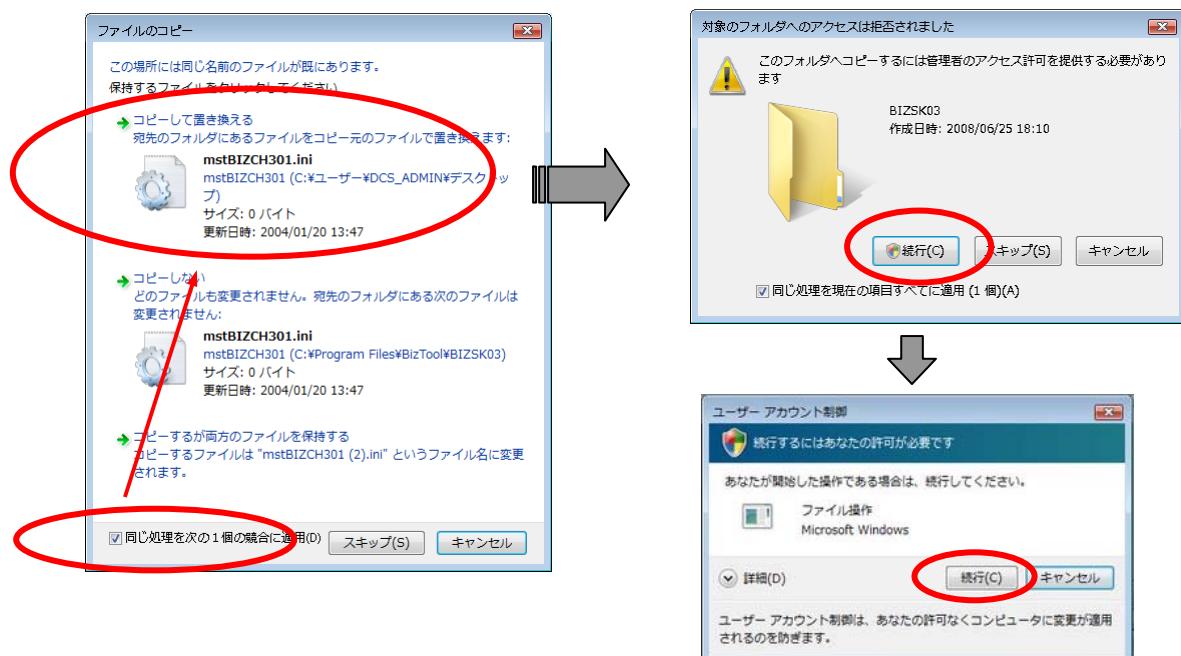
a. ツールをインストールしたフォルダをエクスプローラで表示した状態で、登録データのコピーで退避した「ini」ファイルをもう一度選択（反転している）状態にしてください。**Ctrl** キーを押しながらファイルをひとつずつクリックしていくことで選択できます。引き続き、反転表示されている場所にマウスカーソルを合わせて右クリックし、表示されたメニューの中から「切り取り(T)」を選択してください。



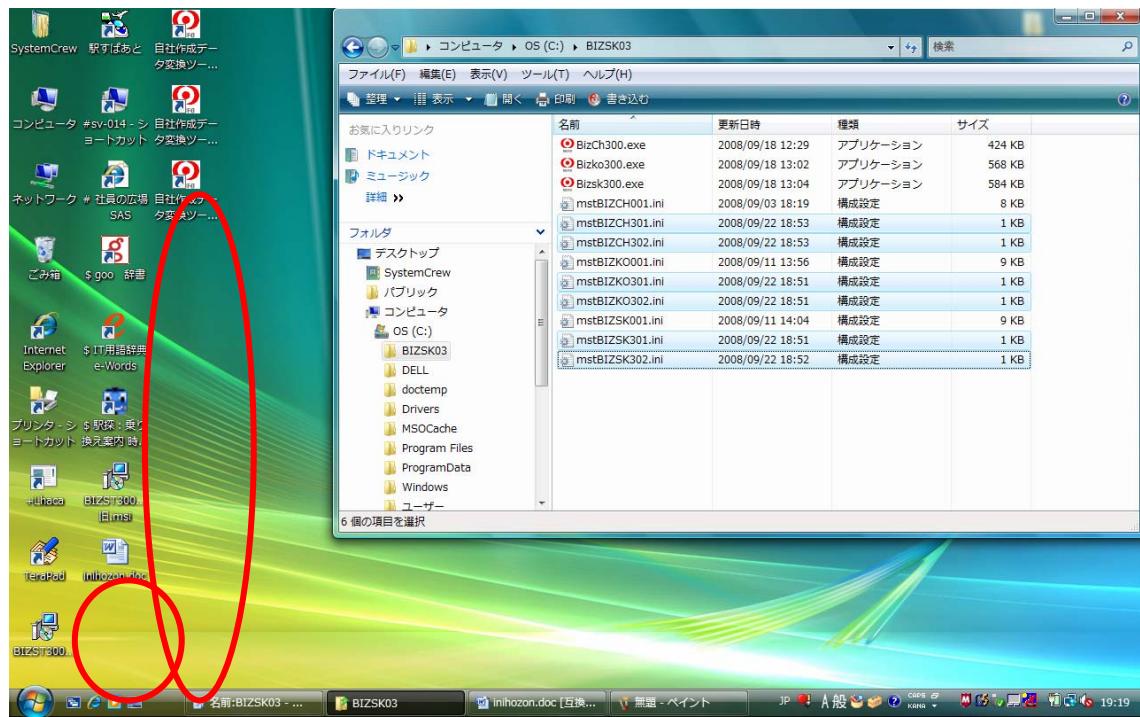
- b. 続いてマウスをフォルダ内の空いている場所に移動させて右クリックし、表示されたメニューの中から「貼り付け (P)」を選択してください。



ここで、下の画面のようにメッセージボックスが表示された場合は、“同じ処理を＊個の競合に適用(D)”のチェックボックスをクリックし、「コピーして置き換える」を選択します。「対象のフォルダへのアクセスは拒否されました」と表示された場合は「続行(C)」ボタンを押してください。「ユーザー アカウント制御」でも「続行(C)」ボタンを押してください。



c. デスクトップから移動したことで6つの「ini」ファイルがなくなっている状態です。



これで操作は完了です。